

## 会 議 録

会議の名称	令和5年度第3回戸田市環境審議会
開催日時	令和6年2月29日(木) 午前10時00分～午前12時00分
開催場所	本庁舎5階 501会議室
議 題	(1) 戸田市環境基本計画改定に係るパブリック・コメントの実施結果について (2) 戸田市環境基本計画改定案について (3) 戸田市の環境令和5年版について (4) その他
会議結果	以下議事録のとおり

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
	1. 開会
	2. 議題(議長:飛田会長)
事務局	(1)戸田市環境基本計画改定に係るパブリック・コメントの実施結果について 資料①②に沿って説明
会長	説明事項で何か意見や質問はあるか。
委員	資料②意見3-④用語説明の「*」の説明について、別紙にまとめるよりも該当ページの下に書いてある方が良いのではないかと。
事務局	可能かどうかも含め、検討したい。
会長	「*」の数が多いため、このような方法しかないように思う。どこから読んでも分かりやすいようにという配慮から、繰り返し頻繁に付けているようだが、通しで読んでいくと少し煩いようにも感じる。一方で、説明が丁寧であると感じるため、悩ましい。
委員	前回の会議でも発言した家庭ごみから発生する枝葉について、先月に地震が発生したが、やはり緊急時に暖を取るため、薪ストーブは必要であるように思う。確かではないが、昨年末あたりにゴミとして出せる枝のサイズが短くなったと思うが、時々ごみ集積所に長くて太い枝が捨てられてしまっていることがある。そういった枝を蓄え、福祉施設等で活用できると良いのではないかと。
副会長	確かに処理業者の都合に合わせたサイズに枝を切るのはとても大変であり、その苦勞を考えると何か他に活用方法があれば良いと思う。近年の自然災害の様子や、この辺りの人口増には危機感を感じているため、〇〇委員の意見には同意であるが、既存の制度を変えていく事はなかなかハードルが高いように感じる。行政側の意見も聞きたい。
事務局	枝については、40cm以上は粗大ごみという扱いになるが、厚さが5cmを超えてしまうと破碎処理自体が難しくなってしまうため、処理業者の方でなるべく小さく切ってもらおうよう、お願いしているところである。公園のベンチには、竈に使える物があり、緊急時は燃やせるものを何でも活用し、暖を取るという事も必要であるかと思う。ご家庭で大きな枝を保管し災害時に備えることについて、いつ起こるか分からない災害に備えておくのは、スペースの問題や虫が発生する等の問題も考えられるため、難しいところである。防災を担う部署とも連携し検討していきたい。
会長	環境基本計画の中に「剪定枝葉」についての記載があったが、そこまで細かな点まで盛り込むのか、検討してほしい。
委員	最近カラスが多く、近所の集積所のごみが散らばってしまうという問題がある。イ

	<p>ンターネットで調べると、重りが付いていて、捲れ上がらないような工夫がされているネットがある。ネットすら使用していない集積所もあるため、市でも、巡回や啓発等、カラスが荒らさないような工夫をしてほしい。</p>
会長	<p>まずは町会自治会レベルで話を進め、それでも難しい場合は市に相談すると良いかと思う。 パブリック・コメント、意見聴取に関して他に意見はあるか。</p>
会長	<p>パブリック・コメントの意見の件数について、せっかく立派な計画を作成しても、意見が7件(1名)のみというのは少し寂しい。もっと多くの方に目を通してもらい、意見を言ってもらいたい。パブリック・コメントの提出方法はメールも可能なのか。</p>
事務局	<p>可能である。</p>
会長	<p>どこの自治体も似たり寄ったりであるが、若い人にもっと積極的に意見を言ってもらいたい。</p>
事務局	<p>(2)戸田市環境基本計画改定案について 資料③④⑤に沿って説明</p>
会長	<p>資料⑤は環境基本計画の中に組み込まれるのか。</p>
事務局	<p>その予定である。</p>
会長	<p>第4章までで意見や質問はあるか。</p>
委員	<p>38 ページからの説明は具体的にイメージができ、分かりやすいと思ったが、一目見たときに、「2030年目標達成のために1世帯当たり660kg-CO2の削減」という意味がすぐ分からなかった。また、世帯と事業所を見比べたときに、世帯の目標値の方が大きいことにも驚いた。</p>
事務局	<p>前回会議で目に見えないものを削減していくのは難しいという意見を頂き、身近な取組として取り組んでもらえるにはどうしたらよいか、と考え、このような資料を作成した。単位については分かりやすい表記となるよう検討したい。</p>
副会長	<p>「660kg-CO2の削減」は2030年まで毎年、1年間毎に達成すればよいかということか。1年でも達成していれば良いのか。</p>
事務局	<p>このページに記載されている取り組みを積み重ね、2030年までに660kgになっていけば良いという意味合いである。</p>
会長	<p>これについては、カーボンバジェットのような考え方であると理解した。 表記方法の工夫で分かりやすくできるのであれば、検討してほしい。</p>
会長	<p>些末な事であるが、何点か修正してほしい点がある。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・37 ページ「ZEB」に「*」が付くのではないか。</li> <li>・41 ページ左のコメント内に「す。」が抜けている。</li> <li>・42 ページ「1 気候変動分野」が太字となっていない。</li> <li>・45 ページ内に「検討」という表記が複数あるが、「検討」だと弱いように感じる。「課題を抽出」又は「推進」等に修正し、結果として出来なかったとしても、それでも良いのではないかと思う。</li> </ul>
会長	第5章以降、その他の資料で意見や質問はあるか。
委員	【資料編】39 ページのアンケート結果を見ると、「車の利用を控え、バスや自転車・徒歩で移動する」、「太陽光発電設備等の導入」、「家庭用地区電設備の導入」、「屋上緑化や緑のカーテン設置など住まいの省エネ化」等の重要項目等において、「実施している。今後も継続する」、「実施していない。今後実施したい」の合計値が2019年よりも2023年の方が低くなっている。この結果で、本当に目標達成できるのか、不安に思う。結果なので仕方ないとは思いますが、市民に対してもっと積極的にアピールする必要があるかと思う。
副会長	<p>極端に言えば、CO2排出量を減らした分だけ減税する等の大胆かつ誰でも分かる施策を戸田市から始めてもらえば良い。</p> <p>目標に向かってどのようにアプローチしていけばよいか、また本計画の中に記載されている内容は多岐にわたり、データ量も豊富であるが、それをどのように活用していくかが課題である。</p>
会長	【資料編】38 ページに記載されている取り組みがどれくらい環境に影響を及ぼすか、脱炭素に繋がるかがイメージしづらく、難しい問題である。
委員	54 ページに「特定外来生物」に関する記載があるが、「生態系被害防止外来種」である「アメリカオニアザミ」は戸田市内でもかなりの数見られる。そういった外来種を市民に知ってもらうため、市民と一緒に市が駆除する機会はないのか。
事務局	自生している場所によって対応方法が異なる。個人宅の場合は、所有者である個人が駆除することとなり、それ以外は、その場所を所管している行政機関等が駆除を行うものである。駆除については、所管の行政機関が実施するが、要請に応じて市も用具の貸出等を行う。
委員	何度か「ナガエツルノゲイトウ」を駆除した際に、その管轄先に相談したが、その際の対応が大きく異なっていた（一方は市民に影響がないため、駆除は出来ないという案内であり、もう一方は丁寧に一緒に手伝ってくれた。）
会長	具体的な事になってしまい、本会議の趣旨から外れてしまっている。1点確認であるが、議題1の「環境関連団体への意見聴取結果について」の資料の中に「アメリカオニアザミ」に関する記載がある。これは〇〇委員が提出されたのか。
委員	私ではない。
会長	このような意見があったという事で、対応方法については環境課で考えてほし

	い。〇〇委員の趣旨としては、54 ページに「アメリカオニアザミ」に関する記載を入れてほしいということか。
委員	そうである。以前は市のホームページに記載があったと思うが。
会長	限られた紙面であるため、情報を全て盛り込むことは難しい。記載の QR コードから調べてもらうような形でも良いかと思う。
委員	61 ページの「新規」という記載はそのまま残すということによいのか。
事務局	改定にあたって、市として何を取り組んでいくべきかを検討した結果、新規で行っていく内容が分かりやすいように「新規」と記載しているため、このまま掲載予定である。
副会長	61 ページに「電気自動車」に関する記載があるが、「水素自動車」に関する記載がない。「水素エネルギー」についてはコラムにもなっているが、戸田市には水素ステーションもあり、周りの自治体より進んでいると考えるため、水素の利活用について、もっと具体的に盛り込んだ方が良いかと思うが。
事務局	水素エネルギーを活用した燃料電池車やエネファームへの補助制度は実施しているものの、市の施策として着手は出来ていない現状であるため、他自治体の事例等も参考にしながら検討していきたい。
委員	38 ページに食品ロスについて、具体的な例(おにぎり1個等)を用いて記載されていると分かりやすいのではないか。
会長	温室効果ガス削減という目標の中で、そういった食品ロスを CO2 削減量に置き換えることは難しいのではないか。
副会長	大手の保険会社が、私たちの日頃の活動が CO2 削減にどの程度貢献するかを計算するソフトを作成し、それに対して学生がどのくらい興味を示すか、という調査を行ったことがある。そういった、根拠に基づき CO2 削減量が計算でき、可視化できるような新しいツールはどんどん取り入れ広めていっていただきたい。 また、生物多様性については、生物を定量化することが難しいという問題がある。生物によって生息地が決まっており、生息地の条件等の情報を開示してもらえると良いのではないかと思う。市民からすると、特定外来生物の名前を聞いても、普段の生活ではなかなか気づけない。それぞれの特定外来生物の発生地区をマップに印す等して、情報を開示してもらえると、気づきに繋がり、市民の協力が得られるのではないか。是非〇〇委員にも、マップの作成等について、市のサポートをして頂きたい。
会長	第5章重点プロジェクトの展開の中で、「脱炭素都市づくり(移動の脱炭素化)」という表記が何度か出てくるが、「移動の脱炭素化」=「脱炭素化都市づくり」という訳ではない。どのような経緯でこのような表記となったのか。

事務局	「都市づくり」となると、「まちづくり」の概念が大きいかと思う。電気自動車等への乗り換えなどにも注目してほしいという意味でこのような表記としている。イコールという意味合いで記載しているのではなく、「移動の脱炭素化」を含むという意味合いで記載しているものであるが、記載方法の変更を検討したい。
会長	93 ページに「フードマイレージ」の記載があるが、「フードマイレージ」に関する記載がこのページのみであるため、各課で積極的に実施していきたいという意思があるのであれば、もっと目立つように記載した方が良いのではないかと思う。 また 97 ページ、経済戦略室の「市民団体やボランティア活動の支援」と環境課の「公民連携への取組」は役割が逆ではないか。
副会長	「産官学連携」等のように企業のみではなかなか進まない。銀行等と連携し、融資を受けられるような体制づくり等も必要かと思う。
会長	追加で 96 ページ(4)-①の基本施策内の「・」の位置がずれてしまっている。
委員	49 ページ「戸田市気候変動適応計画」について、7年間を計画期間とする旨の記載があるが、計画だけでなく一刻も早く実行に移した方が良いのではないか。
会長	66 ページ「V2H」に関する記載はこのページのみであるが、用語説明(*)を付けた方が良いと思う。
事務局・みどり公園課	(3)戸田市の環境令和5年版について 資料⑥⑦に沿って説明
会長	説明事項で何か意見や質問はあるか。
副会長	・74 ページの用語の解説内で、pH(パーハー)と記載されているが、仮名を振るのであれば、今は英語読みの「pH(ピーエイチ)」が主流のため、修正した方が良いかと思う。 ・温室効果ガス(二酸化炭素等)の化学式の数字が下付き文字となっていない部分が何箇所かあるため、揃えた方が良い。 ・81 ページ内の表 5-1-5 のタイトルに「ごみ質分析結果」とあるが、「ごみ質分析」というと、カーボンや繊維等のレベルを指す。表の内容はごみの種類について記載されているため、「ごみ質分析」とは言わないのではないか。 ・56 ページに「サクラソウ」の生育状況についての記載があるが、野生生物は「サクラソウ」だけでなく、さまざまな生物が存在し、交互に入れ替わっているため、「サクラソウ」だけに特化した記載にするのはどうなのか、と感じる。
委員	84 ページに「資源回収報酬金」について、売上金の一部を町会・自治会へ還元しているとあるが、世帯数を基に割り振っているのか。
事務局	過去の広報の配布数を基に算定しているが、最新のデータがなく、新たな算定方法を検討中である。

会長	この資料を基に、令和5年版を作成するにあたって、何か意見があれば発言する、という認識でよいのか。
事務局	令和5年版は、令和4年度の取り組みをまとめた冊子となるため、内容にご意見等あればこの場で頂戴したい。今後の参考とさせていただきます。
委員	81ページの表5-1-4を見ると、新聞の回収量が減っている事が分かる。しかし、84ページの表5-2-2には、新聞の回収が資源回収報酬金へ繋がる事が分かる。一概に新聞の廃棄量が減る事が良いとは言えず、複雑な気持ちになった。
事務局	仰る通りである。ただ、町会・自治会の皆さんには、町会に加入していない方のごみの分別にも協力していただいております、それに対する報酬金となる。新聞を含め、ごみ全体の量が減り、そういった方々の労力が少しでも減れば望ましいと考えている。
委員	こういった報酬金を先ほど話に挙げたカラス除けのネットの購入に充てたらどうか。
事務局	確かにカラスに荒らされる集積所が多く、町会の方が苦勞されている。カラス除けのネットは設置に条件があり、全ての集積所に設置できるものではないが、町会で購入される場合は、報酬金とは別に補助金を交付しているため、そういった制度も活用しながら、購入を検討してほしい。
会長	30ページ表2-2-2.2について、市域全体の温室効果ガス総排出量については、目標達成できているが、市の事務事業においては、目標20.6%のところ、9.0%の削減量であった。コロナ禍で換気しながら空調を回すという非効率的な方法を行ったこともあるかと思うが、これほどの乖離があったという現状で、現実的に2050年までに50%は達成できるのでしょうか。
事務局	実際、かなり難しい目標になるかとは思いますが、市の事務事業で使用している電力を再エネ由来の電力へ切り替えていく施策や、公共施設に太陽光・蓄電池の設置を進めていくための調査等の実施など、ハード面での整備を進めていく予定である。
会長	プラスチック・スマートアクションの資料には余白が多いが、未完成の原稿であるか。
事務局	途中段階の資料であり、今後見やすい資料にする予定である。
副会長	この資料は近年話題になっているマイクロプラスチックの問題を受けて作成されたものであるか。その場合は、マイクロプラスチックに関する説明を入れた方が良くと思う。
事務局	仰る通り、海洋ごみやマイクロプラスチックの問題を受けて、環境省から各自治体にて周知を行うように通知され、作成に至ったものであるため、マイクロプラスチックに関する説明も記載したい。

委員	<p>笹目小学校でヤギの飼育を開始し、廃棄となってしまうキャベツ等を餌として活用している。自営業でキャベツの廃棄が出るため、とても助かっている。</p>
事務局	<p>(4)その他 連絡事項 ①美里町とのカーボンオフセットに関する協定について 姉妹都市である美里町とカーボンオフセット(森林整備)に関する協定を締結することとなった。協定締結式については、市役所内で実施する予定である。 ②環境基本計画の答申及びゼロカーボンシティの表明について 環境基本計画の改定案について、3月25日に飛田会長と藤野副会長から市長に答申を頂く予定となっている。その後、議会閉会(3月26日)後速やかにゼロカーボンシティを表明する予定となっている。</p>
会長	<p>どちらも画期的な施策である。森林整備については、下草刈りや植林を行うのか。</p>
事務局	<p>仰る通りである。市民に植樹を経験してもらうバスツアーを考えている。</p>
会長	<p>美里町の農産物等を食べてもらえると地産地消も進み、良いかと思う。</p>
	<p>3. 閉会 環境基本計画の完成版は郵送にて送付予定。また、計画の作成は今年度中であるが、印刷は来年度の実施となる。 以上をもって本日の審議会を終了する。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>